

# 京都教区時報

特集—京都教区ビジョン作り—その後  
小教区の頁—西舞鶴教会

第69号

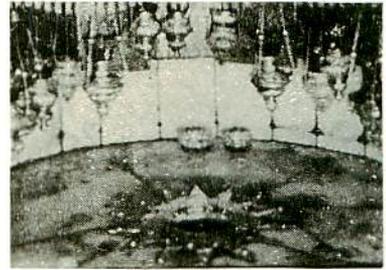
発行所  
京都市中京区河原町三条  
カトリック京都司教区  
広報室 (Tel 211-3768)  
編集責任者 村上透磨  
編集部 教理センター  
田中司教認可



聖墳墓



山上の垂訓の教会



主の降誕の場

## 聖書は神のあなたへのラブレター

(聖書週間にちなんで)

みことばは人となり、私達の内に幕屋をはって住まわれた。キリストはエンマヌエル(私達と共に生きる神)である。万物はみことばによって造られ、みことばを聞く人は生きる。みことばは光であり、光に目を向ける者は真理の中に歩む。私は道、真理・生命である。私によらずして永遠の生命はない。キリストは私達の言葉となつて神の思いを私達に暴露された。神は創造の初めより、いろいろな方法で特に予言者を通じて語られたが、末の日、御子を通じて私達に語られた。

人となられた御子のみ言葉こそ御父なる神の思いの恋言葉、その行いこそ、御父の愛の業である。御子を受け入れよう。キリストは山より下り、人々に神のみ言葉を語りはじめ(ル6:20)。人々はそのみ言葉に耳を傾ける為、山に昇つていった(マ5:1)。そこで主は語り始められた。「貧しい人は幸い。心の清い人は幸い。みことばは神の恵みである。神の語りかけはそのいつくしみの暴露である。心の開かれた人、心の清い人に神はその恵みをあらわされる。山上の垂訓(マタイ5章17章)は、神の福音の大憲章と云われる。そのみ言葉が私達の中に受肉するためには、愛する心をもって聞き入らねばならない。然し之等の言葉は私達の生活の中に堅固な土台となつて、家を建てる事になるのである。うか。(マタイ7:24-29)

すべてはなし遂げられた。みことばはすべて成就するであろう。このみことばは全世界に宣べ伝えられ、あなた方は証人となろう。その時何を云わんかと思ひ煩うな、云うべき事は聖霊が語る。天地は過ぎ行く、しかし私の言葉は過ぎ去らない。

主の死と復活こそ、神の愛の語らいの頂点であった。神の言葉に耳を傾ける者は、その十字架上の沈黙の言葉にも聞き入る。そこにこそ無言の愛の語らいがある。見た事、聞いた事、手に触れた神のみ心は、すべての人々に伝えられるであろう。世の光、地の塩、みことばの証人となつて。すべての人々が顔と顔と合わせ神のみ顔を仰ぎ見る日まで。(コ前13章) 神の国の福音はのべ伝えられるべきである。



### 教区短信

- ▽9月18日⑧ 故松岡司教名古屋教区葬
- ▽9月21日⑧ 九条教会25周年 聖信
- ▽9月21日⑧ 韓国殉教福者記念祭典(聖田カ墓地) 京都C・B・S集会
- ▽9月22日⑧ 邦人司祭例会
- ▽9月23日⑧ 宇治教会25周年 聖信
- ▽9月24日⑧ 近畿修女連養成担当会議
- ▽9月25日⑧ V作り学習会(野尻武敏氏講演)河原町
- ▽9月26日⑧ 第六回シノドス(世界代表司教会議開会)ローマ
- ▽9月28日⑧ 宮津教会聖信式
- ▽9月29日⑧ 亀岡教会新教会起工式 邦人司祭懇話会
- ▽10月2日⑧ V作り学習会(フィリピンからの声)河原町
- ▽10月9日⑧ V作り学習会(深水正勝師)河原町
- ▽10月10日⑧ 12日⑧ 京都教区信徒リーダー養成コース(於宇治黙想の家)
- ▽10月12日⑧ 津聖心教会聖信式 第六回シノドスの為の祈りの日
- ▽10月16日⑧ 司祭評議会常任委員会
- ▽10月16日⑧ 東京神学院司教常任委員会(東京)
- ▽10月19日⑧ 伏見教会聖信式
- ▽10月24日⑧ 聖霊運動関西セミナー
- ▽10月28日⑧ 北白川教会30周年
- ▽11月9日⑧ 京都教区修女連の集い
- ▽11月10日⑧ 司祭評議会

### 全国カトリック青年 大会に参加して



8月23日から3日間、キリシタン殉教の地長崎で全国カトリック青年大会に参加出来たことを感謝致します。

21世紀の教会を担う私たち青年がいかに重要な使命を持っているかを改めて考えさせてくれました。日本のカトリック青年が真の証し人となるよう、多数の若者が修道生活や司祭としての奉仕という特別な証し人となるよう、21世紀の日本の教会がますます他の人たちに仕える教会となっていくてほしい。この教皇ヨハネパウロ二世の青年大会への呼びかけは、どれ程深く私たちの胸に刻みこまれたことでしょうか。深い隣人愛とフロンティア精神をもって神と人に奉仕された宣教師迫害に耐え今日まで強い信仰を守り続けられた人々を訪問する先々でその氣迫と魂を肌強く感じ勇気づけられました。また、ボランティア活動の体験発表や講演、大会宣言の採択、発表などを通して参加者全員が心をひとつに合わせ、この大会を成功のうちに終わらせることができました。主イエズス・キリスト、私たちの知らない多くの人の祈りがこの大会を支え、キリストとの出逢いの場へと導

びいて下さったお恵みを感謝します。あなたに忠実に生きていけることを祈り願います。

（四日市教会青年部 小林悟・S・M  
お二人の原稿を一つにまとめました。）

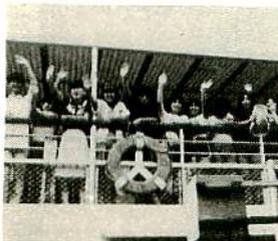
### 高校生ワークキャンプ

8月8日より21日まで、高松の近くの島にある国立療養所大島青松園にて、京都南部のカトリック高校生会が、ワークキャンプを行った。総勢は23名で、男子9名、女子11名であった。

作業としては、盲人の患者が散歩する道の整備や、草ぬきを行った。

又、三日目の夜は、島のカトリック信徒会の人達と交流会を行い、6時から7時までの予定が、話しがはずみ、8時すぎまでそれぞれグループに分れて交流を行い、信徒会の人々は6名参加されていた。一つのグループでは、ゲートボールの話しがはずみ、四日目の朝ミサの前、6時頃からゲートボールを楽しんだ。

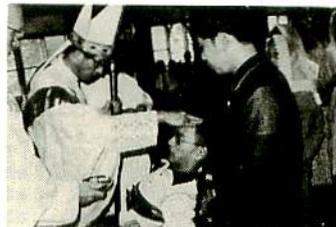
参加者全員は、島から離れ難く、来年もまた来ることを約束して帰途についた。参加できなかつた高校生達も一緒に献血に行つて、手帳を島に送ることになつ



ている。又、島での体験を心に残し、又、参加できなかった人にも伝えるために、現在文集を作つている。

よろしい!

### 大津教会四十周年



九月十五日、

「湖畔の聖母」大津カトリック教会会献堂四十周年の祝典と記念の堅信式を盛大にとりおこなうことができましたことを、神さまに感謝します。

普段広く感じる聖堂も、司教さまを始め、メリノール会管区長、同修道院長それぞれに県内外の教会関係者、百名近くのお客さまをお迎えすると、さすがにこの日ばかりは狭く感じました。

ところで、お祝いとしては必ずしも適しくない四十周年をここであえてお祝した意味は時の醸成のなかで、やがて開示されることでしょうか。今いえることは月並なことになりませんが、大津教会の過ぎこし方と行く末を見据えるなかで、今、大津教会がどういうところにいるか、その抱える難点・問題点を洗い出し、分かち合い、われわれ一人ひとりの自立の課題と受けとり取り組んでいきたいと考えたことです。記念の小冊子「わかちあい」に、座談会「わかちあいと自立」を収録し、内輪の恥を外に、という危惧を持ちながら勇を鼓して問題を呈示し合つたのも、狙いはひとえに先の点にありました。

(大津教会 岡田 徹)

よくがんばったね! 夏期学校

琵琶湖を見下ろす「湖畔の聖母」大津カトリック教会に子供たちの元氣あふれる声のみなぎつた一週間。200余名もの大所帯で始められた今年の夏期学校は、まさに活気と不安の入り混つた日々でした。

この夏期学校は、地域社会における教会の青少年育成活動の大切な場として毎年行われてきました。8年前は30名だったのが、その後40名、60名、80名と次第に増えてつづけ、本年は空前の人数となったわけです。これは、教会における青少年育成活動の実績が大きく評価されたいえるのではないのでしょうか。御ミサに始まり、英語、ワークブック、宗教、工作、おやつという午前中のみの時間割りで、最後の日には遠足を組み入れました。生徒数に対して先生の数が圧倒的に少なく、短かい時間内に多くのことをこなさねばならなかつたことなど、反省点も数有りましたが、多くの方々御協力により無事終えることが出来たのも、マリア様のおとり計らいと感謝します。

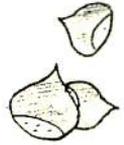
最後に小学六年生の子どもが書いた作文を御紹介致します。

「始めのお祈りはとても退屈でしたが、あとになるほど神父さまの話聞いて、お祈りはとても大事なものだと思いました。キリスト様は自分のパンを他の人に分けてあげました。私はそんなことをめつたにしません。この時間は私にたくさん反省を与えてくれました。」

(文責 草川典子)

司教の足どり

七月～九月



7月

- 15日 正平協臨時集會(東京)
- 16日 信徒使徒職委員會(〃)
- 18日 マリスト會、善きサマリヤ人會
- 20日 宇治カルメル會ミサ。南壯連懇親會
- 21日 邦人司祭月例會
- 22日 J.C.R.R.(諸宗教)第二總會(明治記念館)。レデンプトール會代表と面談(初台)
- 23日 W.C.R.P.(諸宗教)T氏と面談 帰洛
- 24日 S設計事務所と懇談
- 26日 草津、夕のミサ。滋賀県信徒連合會(ビジョン)
- 28日 S設計、上田氏と懇談
- 31日 教皇訪日準備委員會(長崎)

8月

- 1日 長崎より帰洛
- 3日 河原町ミサ。結婚互助會
- 5日 メリノール女子学院高校献入れ式
- 7日 女子カルメル會訪問
- 9日 安土町長、教育長表敬訪問
- 10日 小山ミサ
- 14日 日本正平協、相馬司教、森田會長と面談
- 15日 聖母被昇天祭日
- 16日 大本本部訪問。亀岡教會訪問
- 17日 アロイジオ師賢顯金祝(宇治) 教皇大使面談

9月

- 18日 横田師、T宮と面談
- 20、22日 日本宗教者青年會議(金沢)
- 24日 小山ミサ。M.M管区長と面談
- 25日 京都神學研修會挨拶(N.D) ビジョン作り事務局集會
- 26日 四国聖マルチン病院に母と老司教を訪問。
- 27日 聖マルチン病院深堀司教訪問
- 28日 京都、高松神學生合宿(鬼ヶ島)
- 29日 帰洛
- 31日 聖ライムンド記念日、修女連代表表敬訪問
- 1日 教理センター訪問。国本師來訪 ビジョン作り事務局集會
- 2日 教理センター理事會。京都カレントレット聖ヨゼフ會訪問
- 3日 辻園長(長浜)と面談。韓国人センター代表と面談
- 4日 小池師(大阪)、C.B.S代表と面談。京都信愛ミサ。
- 6日 緊急司教協總會(東京)
- 7日 河原町ミサ
- 8日 司祭評定例會。邦人司祭代表者會。國際ライオンズ會長訪問
- 9日 共助組合代表と面談
- 9日 J.C.R.R.(諸宗教)常任委員會(知恩院)
- 10日 キーン師と面談
- 11、12日 宣教司教委員會
- 13日 エスコラピオス管区長と面談
- 14日 聖母女學院生徒と面談
- 14日 奈良、マリッジエンカウンター
- 15日 大津40周年

親交會加入のお誘い

召命者を出した家族の間で、互いに聖職者、後に続く召命の為に祈り続けて十五年。司教様と岡師の指導のもとに運営される「親交會」は他教区にはその類例を見ない教区公認の親睦団体です。主の島により多くの菊入びとを送られるよう、絶間ない祈りの輪と喜びに満ちたこのグループにふるってご参加下さい。未加入の御家族の方は、教区事務所内同會まで御連絡下さい。

第二回ウォーカーソン

アジアの兄弟のために

歩こう

時報編集部主催、第2回ウォーカーソンを11月3日、開催します。今年にはアジアの恵まれない人々のために歩きたいと思ひます。要領は去年の通りです。

尚今年はベトナム難民の方々、小羊會の方々も参加して下さいます。ピクニックの様に楽しみながら、歩くと言う日常の行いが、如何に恵みに満ちた事であり、この様をこく何でもない事でも人を助ける事が出来る事を感じとっていただければ幸いです。出来るだけ多くの方々の参加をお待ちしています。(編集部)



ベトナムハウスの人々の為に

四日市教會信徒會は、九月中の日曜、祝日の正午より午後三時まで、近鉄四日市駅附近で、御所教會のベトナムハウスの人々の為に「皆さまの暖かいお心を」と大人から子供までが街頭募金に立ちました。いそがしく足早に通る過ぎる人、立ち止って募金の主旨を読む人、ご苦労様と小銭を入れて下さる子連れのお母さん、気持よく募金に応じて下さる学生、有職少年の人々……、募金に応じて下さる方は、どの人も、特に豊かな生活を営んでいる人とは裏腹に、わずかな中からの尊い捧げものばかりで、それが初日だけでも、十万余円にもなりました。募金が済んでの帰り道、私はいつの間にか、小さな人々の一人一人を見守ろう一人一人の中にキリストはいらる」と典札聖歌の一節を口ずさんでいました。(四日市教會 白峰圭子)

ベトナムから逃れて丸一年を迎える9月18日。戦火の中にある故郷は更に悪化。まだ見ぬわが子、妻を案じて仕事にも涙する父もあると聞く。明るいニュースでは8月17日にトウエットさんに男児、21日ピンさんに女児出産。男児の名前がトウンチン(戦争をしないの意)と聞けばベ・ハウスの家族の気持が痛いように判る。只今住人40名。夏は乞われてベトナムの歌と踊りを披露した程打ち解けた。

### 第五回教会学校 リーダー養成研修会



8月8日から10日まで、第五回教会学校リーダー養成研修会が、京都カトリック会館6階で開かれました。参加者は北

は名古屋から南は鹿児島まで、のべ20名、日頃教案に頭を痛めるリーダー達がこの時ばかりは気楽なうそ生徒となつて、素晴らしい講師陣の内容充分のお話に聞き入り、三朗神父様のギターに合せて、音痴ではないとおだてられながら、大声で歌ったり、シスターともどもキヤアキヤアとゲームに打ち興じたり。3日間を通して発表されたリーダーの体験の分かち合いは、そのま、聞く人の心に飛びこんでくる感激でした。この研修会は、今回までは教理センターのスタッフによって整備されましたが、今年始めて教会学校教師会の七人のメンバーを中心に企画運用されました。信徒の自立を求められる時、これは大いに発奮しなければなりません。とは云うものの、教理センター所長松本三朗神父様、シスター米屋の強力な支えを頼みの綱に、かわつた各自の乏しい能力を、聖霊に捧げた結果、何

10倍にもして返して下さった恵みの大きさに、今もなお広がっている恵みの不思議さに感動しています。京都教区の教会学校教師会は、京都北部南部、滋賀、奈良、三重で構成され、各小教区の教会学校リーダー達が笑ったり、泣いたりしながら活躍しています。みなさん一度のぞいて下さい。時間を知らせる鐘をならして下さるだけで嬉しいのです。

### 「地名総鑑」

#### 発刊反対署名運動に

#### 御協力を(正義と平和委員会)

全て国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において差別されない。

#### ——日本国憲法第一四条——

人類社会のすべての構成員の固有の尊厳と平等で譲ることのできない権利とを承認することは、世界における自由、正義及び平和の基礎である。

#### ——世界人権宣言——

「同和」地区の地名、世帯数、職業などを網羅し、雇用や結婚の際に利用するようにと販売されている「部落地名総鑑」等の図書が一九七五年以来現在まで九種類も発売しています。就職、結婚と、人間にとつて最も基本的な行為への不当な侵害、殺人的行為が、営利追求目的の下に放任されていてよいはずがありません。「部落差別」は厳然と行われているのです。

この「地名総鑑」の存在の背景には、「同和」地区の人々が日常的におかれている社会的、経済的、文化的低実態と、それへの偏見があります。何故「部落」は形成され、存在し続けているのか、どのような「実態」がそこにあるのか、「偏見」はいったいどこにあるのか、私達は先ずそのことをはっきり認識しなければならぬでしょう。そしてひとつの社会の中で共に生きるべき私達自身の問題として、この実態の改善と偏見の打破とを目ざしたいと思ひます。

カトリック正義と平和京都協議会では、この九月より、「同和」地区の人々の社会的、経済的、文化的低実態の悪循環と差別的な偏見とを一層助長する「地名総鑑」の企画製作、販売購買行為に対する法的規制を要請する署名運動を始めます。実態と偏見への根本的な取り組みと共に、この署名運動に多くの賛同が得られることを願つてやみません。

(文責 後藤美智子)

### 明治村聖フランシスコ・

#### ザビエル天主堂巡礼

河原町教会では、九月十五日老人の日、創立百周年行事の一環として、明治村に

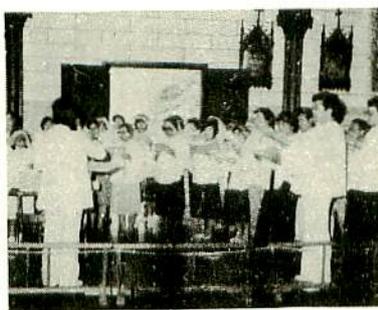


なつかしの  
司教座より

保存されている同教会旧聖堂で感謝のミサを捧げた。

この日は好天に恵まれ、四台のバスで、二百人の信者が明治村に直行、十一時半からのミサに参加した。司式は同教会主任司教でもあり、さらに教区長として、四十年余りを同教会で過ごされた古屋司教現主任司教東門神父と、その日鈴鹿教会から五十名の信者とともに来村したギルマーチン神父も共同司式に加わつた。

この日のために練習を重ねた同教会聖歌隊のグノーのミサ曲が典礼聖歌とともに歌われ、壮麗なミサの雰囲気の中で、感謝の祈りが捧げられた。準備も大変、帰りのバスも渋滞で苦労はしたが、意義ふかい秋の一日であつた。



歌声なつかしく 聖歌奉仕

#### 修道誓願金祝

ペトロ・アロイジオ師、宇治カルメル

修道院長

8月17日 ガスバリ大司教、田中、古屋両司教をはじめ多くの司教信徒の参列のもと宇治カルメル会において修道誓願50周年を祝われた。

### カリタス・ジャパン

(日本カトリック社会福祉事業団体)

今年の四旬節の「愛の運動」は、総額約九千九百万円になりましたが、京都教区からは、皆様の多大のご協力で約五百六十万円をカリタス・ジャパンに送ることができました。約八千万円がタイ・カトリック司教協議会のCOERR(難民と宗教の緊急災害の為にカトリック事務所)を通して、新しい難民キャンプ建設、灌漑用水利設備建設、医療チーム派遣費用に配分されました。残りの約二千万円は、日本国内のカリタス・ジャパン関係のために使われます。

今世界に難民(戦争や政治的・宗教的弾圧の為に祖国を離れた人)は、四〇〇万人で、ベトナム難民、インドシナ難民が約半数、アフリカ難民が約一〇〇万人、あとアフガニスタン難民、東ヨーロッパ難民などです。特にアフリカ難民は援助金も少なく悲惨な状態だそうです。

インドシナ難民に対する日本政府の資金援助は、一九七九年に百四十三億円、一九八〇年に百三十二億円で、米国について多額です。日本国内では、日赤が政府から昨年度二億七千万円の補助を難民のためにうけていますが、カリタス・ジャパンは宗教団体の活動に入りますから、政教分離の建前から政府が補助金を出すことはできません。カリタス・ジャパンの資金は、信者の私たちがからの献金とバザーの売り上げ寄付でまかなわれています。昨年度のカリタス・ジャパンは、災

害救援、国内・国外援助などを含め二億四千万円を資金として支出しています。

カリタス・ジャパンは、国内のために特に法人として認められていない身体障害者の施設や、個人的な障害者のための活動、ボランティアなどにも援助をしています。また京都教区では、御所教会のベトナム難民センターに「カリタス・ジャパン 奈良支部(カーティ神父担当)」をおいて、カリタス・ジャパンと連絡しています。

カリタス・ジャパンのことを少し紹介する意味で書かせていただきましたが、何か質問がありましたら教区事務所にお尋ねください。そして皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

カリタス・ジャパン

京都教区支部 担当

齋木 嘉作

### 創立者マザー・テレサ・ゲルハルディングナー奨学金制度について。

ノートルダム教育修道女会(ノートルダム女学院の設立母体)では、昨年、会の創立者マザー・テレサ・ゲルハルディングナーの帰天100年祭を祝いました。マザーが19世紀中葉、ドイツに於て教育使徒職に奉獻する修道会を設立し、その後100年余の間に世界中にシスターズを派遣してめざした使徒職の目的は、主として、女性と貧しい子供たちへの奉仕でした。神さまから人に与えられた能力の可能性を最大限にひき出すために、力を尽くす

ことでした。この創立者の志を思い、又、司教様のもとに教区共同体をつくらうという現今の京都教区内の動きにも協力できることを願って、カトリック教育を受ける事を希望しながら経済的事情により、ちゅうちよしておられる京都教区の信徒の方々のために、ノートルダム教育人の門戸を開く意味で、奨学金制度をもうけました。まだ第一歩をふみだしたばかりなので、当分は対象をノートルダム女学院高校に入学を希望するカトリック信者に限らざるを得ませんが、皆様がこれを活用して下さることを希望しています。

#### 奨学生の募集要項

○応募できる人

1 京都教区内のカトリック信者でカトリック教育を希望する人

2 経済的事情のある方

3 昭和56年度ノートルダム女学院高校に入学を希望すること

○支給される人

1 ノートルダム女学院高校推薦入学か入学試験に合格すること

2 応募書類の審査と選考に通ること

○支給の範囲  
入学金及び授業料などの学費(返済の必要なし)

○応募期限 昭和55年11月20日

○問合せ先

〒606 京都市左京区鹿ヶ谷桜谷町1  
ノートルダム教育修道女会 本部

TEL 075-761-8455

御葬儀一切の業務を厚く皆様に  
尽くす事をモットーに奉仕させて  
いただきます。

右京区嵯峨野開町

### 厚志社

TEL 817-3506

製菓材料・舶来食品  
和洋酒・修道院製クッキー  
ミサ用ブドー酒

### タキノ

〒604 京都市中京区錦小路通鳥丸東入  
電話 (221) 0976-7

タイプ・活版 } 各種印刷  
オフセット }

### 今道印刷

〒602 京都市上京区天神筋一条下  
ル下堅町152  
電話(075)463-6024番

# 京都教区

## ビジョン作り

ビジョン作り事務局 世話係

齋木 嘉作

A氏はどう聞き違えたのか「教区美女作り」ときいて身を乗り出しました。目を見開き、耳をそば立てて聞き入っているうちに、どうも少し話しがわからなくなってきました。教区がどこかの化粧品会社と組んで神の創造の六日目の業に挑む仕事でも始めるのかと興味をもったのですが、そうでもないらしいのです。ビジョン作りではなくビジョン作りとのこと、何んだ自分には関係ないやと思いました。B子さんは最初からビジョンと聞きましたが、映画の大型スクリーンの何とかビジョンでも作るのかと思っていました。そして頭を横にふりました。それにしても何故教区がこんなものを?

C夫さんは独り言を言いました。「ビジョンで一体何のことや。近頃はやたらに横文字使いよってキザやなあ。」

D氏は信徒会で皆に話しました。「ただでさえ教会は忙しいのに、またその上にこんなこと押しつけられて、えらい迷惑ですなあ。ビジョンかビジョンか知らんけど、どうせひまな人の考えることですよ。うちはかかないまへん。」

初秋の空はきれいに晴れ上っていました。筆者は、太陽が、自分の双児かとびつくりする程丸い顔を天に向けて、つぶやきました。「中々やなあ。やつぱり我々

の説明が足りんのやなあ。どうせ人間の限られた言葉で、教会の神秘にかかわることを完全に話せるとは思わんけど。ほんとはしんどいなあ。それでも仕方ないさかいに、頑張つてやろう。」

もう一度気をとり直して、ビジョン作り事務局の面々と話し合いました。まじめさが服を着ているような司教様、白髪をなびかせて一応反対意見陳述を試みる若い(?)T師、近頃とみに突進的意見に遠慮を見せはじめたO師、海外生活が長く英語も容姿も日本人ばなれしたSr.I、やんわりと面々の気づかない所を指摘されるT夫人、女はだまつてさっぱりと仕事”のH夫人、世の終りの肉身の復活の時、誰よりも先に自分の顔と神様の顔を合わせるであろう長身学生H君、日頃のはつきりした話しぶりから想像できない動物好きのSr.Y、女子の大学の先生のイメージから遠い骨太のM氏、連絡会からは、最近、命をかけると思わなくなること、を悟ったM師、それぞれ活発な意見の交換になりました。次にその中から大切なことを書きとどめておきたいと思えます。

### (一) 連絡会をつくる

(1) 連絡会でどんなもの?

(イ) この会でビジョンをつくるのではない。ビジョンは教区民みながつくるものだから。

(ロ) この会は、ビジョン作りのいろいろな段階での仕事について、各地区、各グループからの連絡員と連絡し合い、仕事を進める。

(イ) 連絡会で出た意見を参考意見として各地区、各グループに持ち帰り伝える。

(2) 連絡会で何をやるの?

(イ) 第一段階、第二段階、第三段階のそれぞれでやる仕事について、自分たちの地区・グループのやっていることを報告し合う。

(ロ) 第一段階では、各小教区・各活動会・各修道院などで話し合い討議する。九月―十一月。

第二段階は、各小教区活動会、修道院からの代表によって、京都北、南、滋賀、奈良、三重の各地区ブロック、青年グループ、活動団体グループ、修道女グループ、司祭修道士グループの段階での話し合いと討議。十一月―八月一年二月。

(3) 活動団体でどんな会のこと?

(イ) 京都教区内で実際に活動している会で、ビジョン作りの趣旨に賛成している会。

(ロ) レジオナリエ、ビンセンシオ会、正義と平和協議会、JOC、ACO、CLC、カトリックボーイスカウト、子羊会、カトリック看護協会、教会学校教師会。(学連は青年グループ)

(4) 連絡会はいつ開かれるの?

(イ) ビジョン作りの事務局としては、第一回連絡会を、十月五日(日)午後二時から京都教区事務所で開く案を持つている。

(ロ) その後は、月一回ぐらい、連絡会自身で開き、場所も連絡会で定められたいと考えている。

(5) 連絡会のメンバーはどんな人?

(イ) 各地区ブロックから各三名(計十五名)青年、活動団体、修道女、司祭修道士の各グループから各三名(計十二名)

(ロ) 事務局から五名

(ハ) 連絡会には、いつも各地区、各グループの連絡員全員でなく、少なくとも各一名は出席してほしい。

### (二) したら事務局は一体何をやるのか?

事務局の仕事は、この連絡会と違っていて、むしろ連絡会がその連絡の仕事をよくできるように、後押しをする。

(1) 連絡会で報告し話し合われたことを整理し、まとめて各地区または、各グループに返し、それぞれの話し合いの役に立てる。

(2) 連絡会で話し合われた事で具体的に取りあげるべき提案があれば、それを計画実現させる。例、講演会など。

(3) ビジョン作りの為の講演会、勉強会、などの参考になる資料を作る。

その後、丸顔の筆者は、いろいろな意見を聞きました。

E夫人「急にビジョンを作れ言われても何のことかわかりません。もうちょっと時間をかけなあかんのどちらがいますか。」

確かに忙しい仕事です。しかしこれは、もともと日本司教団に属する「日本宣教師センター」が三年くらい前に始めた

「日本の社会の福音化」というビジョン作りの仕事に刺激されて、京都教区のビジョンを作ろうと昨年初めからやり始めたことなんです。こまでくるのにもう二年近くかかりました。今は、充分なものでなくても短期的なビジョンを作り、修正しながら何年かかっても完成して行きたいと思っています。

第一回連絡会ではこうしたいと思っ

ています。  
(4)最も大切なものを採すために、現在の段階で何から手をつけるべきか(優先順位)の、皆の考えを出す(ブレーン・ストーミング)

(2)ブレーン・ストーミングでは、出された考えが正しいか間違っているか、どちらの考えがより価値があるか、ということは議論しない。現状でまっ先に手をつけることを出す。

F子さん「何やわかったような気もするけどまだピンときませんね。」

筆者も大分破れてきましたので、この辺で終わらせていただきたいと思ひます。とにかく、皆さんのご協力量心からお願いいたします。

### 邦人司祭七月例会において

去る7月21日、邦人司祭月例会の席上なされたその担当小教区でのビジョン作りの動きの報告をまとめると次の通り。  
1 地域の特殊性もあり、余り積極的取組みの姿勢はない。  
2 地域の福音化が先決問題である。  
3 各会で少しずつ検討をはじめた。(本格的には九月以降に取組む。)

4 「たたき台」をコピーして渡した。  
教区時報(8月号)を待つ。  
5 小教区のたたき台を準備グループで作りつつある。  
6 アンケートを取るとか討論会をしてはとの動き。ビジョンそのものについてでもよいし、例えば何故教会に来て

るかとか云ったテーマで聞くのもよし。  
7 説教等凡ゆるる機会に、公会議文書の説明、ビジョンについての話をする。等。  
又準備委員会のメンバーからは各地に出かけ説明会を始めている事が報告され、更に公会議文書の外に、教皇教書、例えば、現教皇のレデンプトル・ホミニス、パウロ六世のエクレジラム・スアム等の勉強会もよいのでは、講演より勉強会の方が有益なのでは?等の意見があった。

更に、ビジョン作りの一端として、  
9月18日「人権と平和」(深田久子氏)  
9月25日「日本経済状況」(野尻武敏氏)  
10月2日「フィリップピンよりの声」

(Sr.ホメロ、Sr.ヴァレラ)  
10月9日「私達の信仰の神学的見直し」(深水正勝師)

等学習会が行われるとの報告があった。

### ひとことと説明を

前号8頁の補足解説IIはなかなか難かしく、解説の解説が必要ではと云う様な、御意見も少々伺ったので、ここにもう少し説明を加えておきたいと思う。

まず、ことわっておかねばならないのは、補足解説と云う言葉自体が問題であったわけで、補足解説と云うより、補足事項と云ったものであった事である。

ビジョン作りと云う運動が続けられる上りして、私達が何か誤解したり、見落したりしている事があるのではないか。そういった事の中にとても大切な事があるのではないかと全く愚か者の老婆心より出た記事だと思っただければよからうかと思う。それは見識ある方々には、

釈迦に説法と云う事になったであろうが然しあえて勇を鼓して書かせていただいた次第であった。

確かに解釈を更に加える事は時として、その内容を軽くしてしまう事がある。然しそれを動機等を書く事によって、何等かの理解のきっかけをつかんでいただき、考えを発展させていただけると信じる。

一、教会が目ざしているもので指摘した事は、ビジョン作りの上で注目すべきものは教会だけでなく、世界の中の教会、世界の証し、世界に於ける救いの代表者である事を忘れない様に、具体的に云えば、出て来るビジョンは、教会のためであるが、教会だけのものであつてはならないと云う事である。勿論、教区、日本、

世界の教会、又夫々を取まく世界の、縦と横の繋がりも考慮すべきである。

第二については、一つの取越し苦労から来るもので、余り世界を見つめずして、現世的、人間的、外面的な目を向け、人間至上主義的な努力に流れる危険を感じる恐れから来る。そこで、教会はどちらか云えば、霊的なもの、神的なもの、内面的なものを旨とし、それにすがるべきだと思ひ、教会の特殊性(それが世界への貢献性ともなるが)はやはり、そちらにある事を忘れたい。だから、

作るに際しても、頭をふりしぼるより、心をふりしぼるべきだ。熱烈な祈りの時を持つべきだと思ひからである。

現代をどう把握するかにしても、自分が教会や世界をどうとらえるかによって、その眼鏡や心の向きでずいぶん違うわけで、そこで互いの心の歩みより、とか、目の改心とか、耳の開放とか、そういったいろいろの事が必要となつて来る様に思える。そして本當に的をあてたビジョンを作るためには、神さまの意志を聞く事と、自分自身としての教会をどう捉えるかと云う事が大切だと思ひ。

私達は、きつと神様の意志をまだまだ理解していないし、教会自身、自分自身のあるべき姿を本當に知つていない人、更に現代を適格的に的を得て見る事の出来る人は殆んどいないと云う事の自覚と改心から始めるべきだと思ひからである。

そういう事を考慮しながら、前号の記事を再読下されば御理解いただけると思ひ。

### 賦課金配分

#### — 京都教区会計より —

各小教区から、教区に献金していただいています。  
教区賦課金の昭和55年度の配分を報告いたします。  
大変おくれましたことご容赦ください。

54年度賦課金	収入	13,178,466
〃	支出	9,077,550
〃	残高	4,100,916

54年度予算 17,270,757

#### 賦課金の配分

	54年度 使用額	55年度 予算案	55年度 決定額
諸活動補助費	4,421,700	9,410,757	9,410,757
分担金支出	1,655,850	2,360,000	2,360,000
事務所経費の一部	2,000,000	2,000,000	2,000,000
改築引当金	1,000,000	2,000,000	2,000,000
予備費		1,500,000	1,500,000
合計	9,077,550	17,270,757	17,270,757

#### '80分担金支出

	54年予算	54年実績	54年予算
諸宗教		9,000	100,000
エキュメニズム	220,000	45,000	50,000
教誨師		46,000	50,000
Y・B・U	130,000	110,000	200,000
中央協議会	3,500,000	864,550	1,000,000
F・A・B・C 分担金	100,000	11,300	100,000
ローマ 分担金	500,000	500,000	500,000
世界宗教者 平和の会議	50,000	70,000	
エルサレム			260,000
その他			100,000
計	4,500,000	1,655,850	2,360,000

### '80 諸活動補助金

活動会名	54年度予算	54年実績度	55年度予算	配分決定額
正義と平和	350,000	360,000	500,000	500,000
聖書週間	50,000	50,000	50,000	50,000
広報	800,000	(615,419)		
学連	200,000	160,000	222,734	222,734
京都働く人の家	500,000	500,000	650,000	650,000
大津〃	360,000	360,000	360,000	360,000
召命促進	300,000	237,300	300,000	300,000
教理センター	300,000		1,300,000	1,300,000
希望の家			3,000,000	3,000,000
教会学校教師会			49,300	49,300
結婚互助会			64,723	64,723
C.L.C			100,000	100,000
青少年地区活動費				
京都南部	200,000	200,000	188,000	188,000
・〃北部	400,000		※ 50,000	50,000
・滋賀	300,000	300,000	※ 350,000	3,50000
・奈良	300,000		※ 396,000	396,000
・三重	300,000		※ 50,000	50,000
諸窓口費	300,000	52,680	150,000	150,000
予備	340,000		1,500,000	1,500,000
小山教会		75,000		
大津〃		126,720	130,000	130,000
カルメル会		2,000,000		
計	5,000,000	4,421,700	9,410,757	9,410,757

(注)

※ 印

(長崎 '80青年大会参加費含む)

お知らせ

◎ビジョン作りのための  
学習会(京都府南部)

◇10月2日④

「フイリピンからの声」

Sr ホメロ、Sr ヴァレラ

◇10月9日④

「私達の信仰の神学的見直し」

深水正勝師(真正会館長、上智大講師)

\*\*\*\*\*

各講演 AM10時~12時30分

AM7時~9時30分

会場 京都カトリック会館6階

※入場無料

◎聖書週間プログラム

◇読みたい本の相談コーナー(聖書につ

いて)

日時 11月16日⑩10時半~12時半

場所 京都カトリック会館6階

相談役 松本三期師

※聖パウロ会園田書院の書籍出張販売致

します。聖書に関するスライドもやっ

ています。

◇講演

日時 11月16日⑩1時半~4時半

場所 京都カトリック会館6階

テーマ 「聖書と私」

講師 井上洋治師

※入場無料

◎信徒使徒職養成コース

第4回 基礎コース

日時 11月30日⑩ PM5時半集合

12月3日④ PM5時解散

場所 宇治カルメル会 黙想の家

〒611宇治市木幡赤塚65

費用 14,000円

0775-31-3543

申込先 京都カトリック教理センター

〒606京都市左京区仁王門通新

高倉東入ル

075-761-9095

申込締切 11月10日(必着)

電話での申込みは受付けま

せんで御了承ください。

定員 5名(KCCK会員以外の方)

\*\*\*\*\*

(注) KCCK会員の方と一緒に受けてい

ただきます。

部分参加、途中参加はご遠慮くだ

さい。

参加費は、受付後払込用紙をお送

ります。その後お払いください。

聖書に基づく週末の祈りの体験

期日 10月10日~12日 11月1日~3日

11月22日~24日 12月12日~14日

金曜・午後6時より日曜午後3時

場所 大津市唐崎丁目三ノ一 Ⅱ 075-79-2884

ノートルダム折りの家

費用 七千円 予約金(三千五百円)

高申し込み並びに詳しい事はノートル

ダム会本部修道院へ(Ⅱ 075-761-8455)

「よろこび」ふたたび

古屋司教金祝記念誌発行

古屋司教様の司祭叙階金祝記念誌「よ  
ろこび」が、完成した。内容は「アルバ  
ム」「思い出」「芽生え」の三部からな  
っている。「アルバム」には、中々拝見  
できない少年時代、神学校時代のお写真  
から、司祭叙階、司教叙階、田中司教様  
へのパトナタッチ、金祝までの23枚が取  
められている。まさに、目で見る司教様  
の歴史と云って良いだろう。

「思い出」には、読者の方々から寄せ  
られた18篇の原稿を年代順に編集した。  
これも、司教様の50年の記録と呼べるだ  
ろう。若き司祭としての活躍ぶり、戦争  
時代の孤軍奮闘、近況インタビューなど、  
読みごたえのあるものばかりだ。

「芽生え」は、時報に15回にわたって  
連載したものを、今回書き直した。京都  
教区の歴史を知る上でも、また司教様の  
エピソードとしても、貴重なものだ。

申込み方法

各教会に贈呈本と申込み用紙をお送り  
します。期日は11月末日必着で、教区事  
務所にお願ひします。代金は現品到着後  
で結構です。(送料は実費)

お断りとお願ひ

原稿を応募くださった方々へは、贈呈  
本をお送りしますが、住所のわからない  
方がいらつしやいます。もし10月末まで  
にお手許に届かない場合は、住所を編集  
部までお知らせください。

古屋義之司教 司祭叙階金祝記念誌

よ ろ こ び

- アルバム 少年時代から金祝までのお写真23枚
- 思い出 教区民の綴る50年の記録
- 芽生え 京都教区の歴史を語る貴重な証言

お待たせしました  
9月21日発行

B5判 50ページ  
定価500円(千別)

カトリックと他宗教との相異点は大体三つある。秘跡、位階制度、聖母マリアに対する信心、である。聖母マリアに対する尊敬は教会より古い。神は罪の汚れない聖母を、私達に与える事によって聖母に対する尊敬を示された。聖母マリアは聖霊降臨の日、弟子達と共におられる聖霊から豊かな秘跡をお受けになった。その時以来、教会は、聖母マリアをほめたたえている。それは、聖母マリアの連祷の中によくあらわれている。第二ヴァチカン公会議の終る頃、パウロ六世は、教会の母という称号を、連祷の中に加えられた。現教皇ヨハネ・パウロ二世は、世界の信者に対して、聖母マリアへの信心



「聖母マリアに  
対する信心」

をもつように強調され、教皇ご自身も毎日ロザリオの祈りをと覚えておられる。神の救いのご計画は、聖母を通して救い主キリストを人類に与えるという事であった。聖母マリアは、イエズスキリストの母であり、神の母である。聖母を通して、イエズスキリストのところへ、行くという信心をもつなら、私たちは、教会の古くからの伝統を受けつぐ事になる。聖母マリアは、私たちの絶えざるおん助けの聖母である。それは、一、秘跡を通して私達を、キリストに出会わせ、二、教会の教えの權威を守るよう助けて下さるということです。

キャンベル神父(西舞鶴教会)

丹波路に初めてキリストの福音がもたらされたのは、今から九十五年前、一八八五年(明治十八年)、当時、河原町教会司祭ピリオン神父が京都から近江路を経て海路、舞鶴宮津へと行脚伝道されたのがその因になっております。西舞鶴教会の歴史は教会沿革史(故樋口安蔵氏著)の中で、次のように述べられております。



頁の  
小教区  
舞鶴  
教会

●創業時代(一八九一年―一九〇二年)  
一八九一年(明治二十四年)バリエ外国宣

教会のルラーブ神父により始めて当舞鶴に民家を借りた仮教会が創設されました。封建色の強い地域社会からの教会活動への圧迫は甚だしい十年間でした。

●興隆時代(一九〇三年―一九三〇年)  
一九〇二年(明治三十五年)の末、当教会に第一代の専任司祭、カスターニア神父が着任しました。以来一九三〇年(昭和五年)までの二十八年間は、ようやく地域社会との交流も深められ、信者数も年毎に増加し、多い年で五十名近い受洗者

がありました。一九二八年(昭和三年)には、アノージュ神父により、現在の日星高等学校の因となった舞鶴裁縫女学院が創設されました。

●戦時圧迫時代(一九三一年―一九四五年)  
五年間は苦難の時代であり、昭和十八年には司祭館の一部も軍の使用管理下におかれ、昭和二十年には、ご聖体を聖母訪問会修院に奉還せざるを得なくなりまして。

●復興隆盛時代(一九四六年以降)  
一九四八年(昭和二十三年)府北部地区がレデンブートルカナダ宣教会の布教区となり、今は亡き、フーラー管区長を始め、ともに来日されたレデンブートル会神父様方の献身的な布教活動が、当舞鶴教会を中心に、府北部一円に始められ、一九五一年(昭和二十六年)九月、現在の西舞鶴教会聖堂が建設されました。

さて、地理的にも府北部の十二の教会の中心部にあたる西舞鶴教会は、聖体大会、誓願式、叙階式等、数々の式典、行事にあたり、信者各部の和と奉仕によって、その役割を果たして来まして。

壮年部は、教会の主要行事、事業の企画、会計面等、各部門との連携を保ち、婦人部は、四季を通じて、祭壇の花掛け、聖堂の清掃、売店の世話、病人の慰問などに心を配っております。また婦人部が中心になって、バザーや懇話会なども計画されます。

待者会は、男子中高生を中心とし、小学生の一部も加わって、ミサでの役割を

果たし、毎週土曜日の夜、例会を開き、その指導には、青年信者があたっております。

聖歌隊の活躍は、当教会の大きな信仰のさそえとなっております。婦人部、青年有志、女子中高生で編成され、祝日には、エレクトーンの伴奏に加えて、フルート、ギター等も加わって、聖堂に流れる歌声には、この教会の永年の伝統の美しさがあります。

女子中高生によるジュニアの会は、毎日曜日のミサ後、例会を開き、聖母訪問会のシスターに霊的な指導を受けております。また聖歌隊のメンバーとして活躍し、行事毎に摸稔店なども、計画し楽しい雰囲気盛り上げてくれます。

日曜学校は、小学生約三十名を、学年別に三つのグループに分け、保護者のお母様方八名の教師グループを作り、顧問にシスターの協力を得て活動しております。家族単位の信者の多い、当教会では、子供達の人数も多く、日曜学校の活動には、物心両面の力を注いでいかなければならないと思っております。



日星高校、老人ホーム等、カトリック系の施設が多い、当教会は、レデンブートル会神父様方、聖母訪問会シスターの指導を頂ける家族的な教会です。



濃あじさい

お地蔵様の首傷む

6月22日(ミサ後、こひつじ会の一行十名は大和郡山市のあじさい寺として有名な矢田寺へ行きました。大小、色とりどり何万本というあじさいが、山の寺を埋めていました。透きとおったガラスのようなあじさいがとりわけ美しく、花と人の渦でした。

性格

坂道と階段、落伍する者なく一同元気に帰路に着きました。感謝にみちて。八木教会 こひつじ会(老人会) 今、私は血液型に凝っています。手相も好きなのです。早く言えば人の性格にとっても興味があるのです。地球上に数えられないほどの人間が存在しましたし存在していますし、これからも存在するでしょう。同じ性質の人が一人としていないというものは何と驚異でしょう。それはジグゾーパズルを思い出させます。その人しか持っていない特技で神様にお仕えることによって神様の面目を完成するのでしよう。ともかく、このあまりにもヴァラエテ

旅人のうた

私があなたに願うのは 光です。 私の心は苦しんでおりますから。

ひとこと

キリストの教え

わかつているのか

◎日曜日のミサ後、全信者対象の集會があった。見わたせば、いつもと変らぬ顔ぶれだった。兄弟たちよ、交わりを知らずに、神を語れますか。交わりを知らずに、何が神の御国なのでしょう。 川本洋一(草津)

根からわかってんのか

「これは、これは、神父さんモグラ。きたねえ所ですが、どうぞ上ってください」 「そりゃワシだって、教会へ行かないこと、気にしてないわけでもないんです。ただ、どうも行く気にならない」 「何故かってですか。どうも辛いんだが、ワシらのような土掘りモグラにや、教会は向かないんじゃないかと思いやしてね」 「確かに、モグラ大学を出た連中が、いばつてませんよ。でも、ごくわずかの奴がね、学歴なんてこと尺度にモグラ見てるようで、どうも居心地が悪いや」

「それに、いやな話聞いてね。ワシの甥に好きなモグラができてね、お互い結婚まで約束したんです。だのに、相手のお父つあんが、大学出てねえ奴とは結婚させんと云いやがる。この一家も、キリストさん信じてるんですがね」 「ワシは、わからんようになった。キリストさんは、学者よりワシらのような者、大切になさつたと聞いたんじやが」 「何も学歴だけじゃなくて、教会の中にまだまだ、差別」というのがあるように思えて。ひがみ根性ですかね」

と、同んなじですな」 「ずいぶんグチっぽくなって、すんませんねえ神父さんモグラ」 「頭ではわかつてるつもりでも、根からわかつてるわけじゃないんですな、キリストさんの教えが」

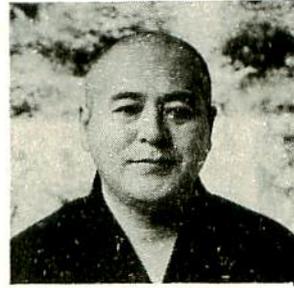
一高校生

◎ハイ・ソサイエティーという印象を自身ももっていたことは確か。だから、イエスの身に集まってきたような人が、現在教会に足を運びにくいということはあろう。

# 諸宗教の対話

わたしの願いは

凡てのものごと一つになることである



一燈園同人  
石川 洋

今日、諸宗教間における対話の必要が言われるようになったが、この対話の根底には、単なる交わりとしての協調ではなく、現代に生きる宗教者としての基本的姿勢が問われているように思われてならない。自己省察の意味も含め二、三の問題点を検討させて頂きたい。

(一)つは、これからの宗教者は、教団の中に閉じこもるのではなく、広い世界の問題の中で教理を實踐していかねければならない。信仰が現実の社会の苦悩の中で生かされてはじめて生きた宗教といえるのであろう。現代における宗教は、政治・経済・教育・福祉等の人間の営みとの根底にあつて、それらに救いの色合いを与えるものでなければならぬ。諸宗教はそのために相互に学びあい、協力をしなければならぬ。

(二)つには、いずれの宗教においても、宗教の究極的目的は、全人類の幸福の実現

にあることを確認し合い、その目標に向かって凡ての宗教が協力していくことが必要である。

人類の共存性は政治の場においては自ら限界があるが、一匹の迷える小羊を救わずにおかないという、宗教においてのみ成し得る「苦悩の連帯性」を深め、諸宗教が祈りを共にし、力を尽さなければならぬのである。

(三)つには、現代に生きる宗教者の反省を通して、宗教が果して本来社会を形成し得る原理をもち得るのかどうか、ビジョンを提示する責任を負わされているということである。

人間の未来社会における可能性への努力は、個人の信仰としても、教団の在り方としてもあきらかにしなければならぬことであるが、人類史的な反省に立つならば、個として守られて来たモラルが複合化されるとそのモラルが破られて来たのである。そうした意味において、今日求められている諸宗教の対話は、まさに人類の未来に対する宗教者の切実なる願望に根ざしているといえよう。

いささか理におちた書き出しになってしまったが、どんな宗教も、他のために自己を献げる実践と祈りでは一つであるという、ささやかな願望に立つ私達にとっては、諸宗教との対話は、それぞれの宗教者の献身を拝まして頂くことにあるのではなからうかと思っている。

特に、カソリックの地味な己れを捨てての實踐には、何時も尊く、又、私達なりの共感を覚えているのであります。

一燈園の創始者である西田天香さんは、フランスが己れのための所有物を持たれなかつたように、無一物の十字街頭に奉仕の生涯を送られた方でありますが、かつて、長崎にコルベ神父、ゼノー修士が上陸され、「無原罪の聖母」に人びとの悔い改めの宣教をはじめられた頃、その地下の一室を訪ねられ、印刷機をまわす清貧の使徒に、深い感動を覚えられ、「世に、やさしい顔」はいくらもある。けれどもまだこの二人ほどのやさしい顔を見たことは少ない。三人はもうただわけもなくうれしかった。眼の色もあたまの毛もすつかり変っているにもかかわらず、その生活のあらわれが、いかにも一つであるのうれしさが込み上げる。洋の東西を論ぜず、ほんとの道は一つなのである。と当時の感慨が記録されているのである。

三条教会でお親しくさせて頂いていたバートン司教様が、戦後、朝鮮の動乱時厳寒の収容所で殉死されたことをしらせられ、天香さんは、その聖なる献身を尊び労苦を共にしようと提言され、大人から子供まで同人三百名が断食をして祈り合ったことを印象深く覚えていた。

宗教の対話は、前記のように、現代的使命に目標づけられているのであるが、同時に、献身の共感として現われる内的一体感に根ざすものであろう。



時報が対話  
の手段なら  
ば「互い」に  
心を開けあ  
も編集者も

◆ビジョン作り事務局も発足し益々多忙でも沢山の方達にお会いでき、京都教区共同体をほだで感じます。困惑、苦しみもどかしさ、一つひとつが共同体づくりのかすがい。(Y)

◆一日の睡眠三時間、本職の他に二つも仕事を持つているというタクシードライバーの運転手さんと喋った。甘ったれの社会とはいえ、人生に対する真剣な挑戦者は存在するものですね。(き)

◆涼しい夏が終わり、ありがたくないおみやげを置いていきました。秋の収穫物に与えた影響です。そうである時にそうであるということはい、ことなのですね。心まで冷たくなりたくありませんね(一)

◆中と云う字はあてると読み、的の中心を射る事から来る字だとか。中庸を守る事の何たるむすかしさ。何事にも的を中てていたいものだ。ビジョンを見つめる目にも正しい眼鏡をかけよう。但し正常な目の持主にはそれは無用です。(MT)

◆編集の仕事ができないと寂しい、と云えば、少しかつこよすぎるか。忙しい、と云うのも、云い訳になる。原稿用紙と割付け用紙相手に、遅くまで悪戦苦闘していたのが懐しい、と云うようでは、もう駄目か。次号から、また頑張る。(垂)

いかにいかに  
人間なりたい  
からあなたのため  
あつたこと

(題字も筆者)

本紙を福音宣教に役立たせるため、  
「ご近所、お友だちにもお見せ下さい。」